

※富雄第三中学校区



心身ともにたくましく、自分を大切にし、他者を思いやる子ども

▶富雄第三中学校区 地域教育協議会

<p>地域・子どもの現状</p>	<p>地域には特別支援学校があり、また2つの大学が隣接する。1幼1小1中で、子どもたちの人間関係の固定化や構築力の弱さが感じられるが、比較的素直で落ち着いており、イベントなどにも活発に参加する。地域には子どもたちの教育をサポートできる人材は豊富に存在するが参加は限られており、地域全体的に高齢化が進んでいる事とコロナの影響でイベントはほぼ行われていない。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>自ら挨拶が自然にできるような積極性と自発性。 また、人間関係の幅を広げるためのコミュニケーション能力。 お互いを認め合い、相手を思いやる心を育てることで自己肯定感をも高めていきたい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>小中学校の10周年記念事業、幼稚園の閉園における記念事業として、1年を通して、普段の活動にプラスαを加えて支援を無理なく展開していく。地域へ「あいさつ運動」を呼びかけ、地域の一部で行われている「ワンワンサポーター」を全体に広げる後押しをしていく等、ボランティアの登録に関係なく関わり、子ども達の顔見知りを増やす事で安心な環境を作る。また、企画立案で子どもたちを巻き込みながら、オンラインを活用するなど安全な方法でのイベントを実施する。</p>



▶富雄第三中学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校は小中一貫教育校であり、子どもたちは9年間同じ環境で過ごすため比較的落ち着いているが、人間関係の固定化や人間関係構築力の低さが感じられる。一方、地域には子どもたちの教育をサポートできるような貴重な人材が多く在住されており、その力を活用することで子供たちのさらなる成長が期待できる。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>教員や保護者とは違う「ナナメの関係」である地域の大人たちと接することで人間関係の幅を広げ、お互いの存在を認めて相手を思いやる気持ち、地域住民と元気にあいさつを交わすことができるような積極性と自発性を育てる。また、さまざまな人とかがわる経験を積み重ねて、自尊感情、自己肯定感をもたせ、たくましく生きていく力をつける。</p>
<p>取組内容</p>	<p>「図書活動推進事業」の図書室整備、「学習支援事業」の授業支援等の取り組みを通じて感謝の言葉を伝え、お互いの存在を認める気持ちを育成する。「登下校安全見守り事業」では地域に顔見知りが増えることで子どもたちが自ら元気にあいさつができるような環境作りを目指す。</p>



▶富雄第三小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校は小中一貫教育校であり、子どもたちは9年間同じ環境で過ごすため比較的落ち着いているが、人間関係の固定化や人間関係構築力の低さが感じられる。一方、地域には子どもたちの教育をサポートできるような貴重な人材が多く在住されており、その力を活用することで子どもたちのさらなる成長が期待できる。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>教員や保護者とは違う「ナナメの関係」である地域の大人たちと接することで人間関係の幅を広げ、お互いの存在を認めて相手を思いやる気持ち、地域住民と元気にあいさつを交わすことができるような積極性と自発性を育てる。また、さまざまな人とかかわる経験を積み重ねて、自尊感情、自己肯定感をもち、たくましく生きていく力をつける。</p>
<p>取組内容</p>	<p>「図書活動推進事業」の絵本の読み聞かせ、「学校園支援事業」の家庭科の授業支援や「学力向上推進事業」の放課後学習見守りボランティアのような取り組みを通じて「ありがとう」の言葉を伝え、お互いの存在を認める気持ちを育成する。「登下校安全見守り事業」では地域に顔見知りが増えることで子どもたちが自ら元気にあいさつができるような環境作りを目指す。</p>



▶富雄第三幼稚園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>子どもは、入園までは家族中心の生活で温かく見守られている。地域の子育てサークルに通う子が多くなり、入園までに親子共に顔見知りの家族が増えている。校区は坂道が多く、少しの距離でも車を利用し歩く機会が少ないように思われる。本園で実施している未就園児保育事業（ミッキーグループ）や奈良市子育てスポットぱふなどで同年代の子ども達との遊びも楽しんでいる。幼稚園ではいろいろな人たちとのかかわりを大切に一幼・一小・一中という地域性を活かし、例年ならば小中学校・富雄保育園・奈良西養護学校との交流や、地域行事への参加などを行っているが令和2年度は奈良市からの指示で新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。但し、奈良西養護学校とはリモートでの交流を行った。また、新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら地域の方々の指導によるお茶会やわくわくダンスやわくわく農園の野菜づくりなどの園支援を得ている。しかし、今後の状況によって変更せざるを得ないこともあるので子どもの姿に応じた事業対応を行っていく。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人とかかわる力を育てる。 ・しなやかな心と体づくり。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人や様々な人とのかかわりを大切にする。 ・友達と一緒に、体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。 ・いろいろなあいさつができるようにする。 ・季節を感じながら戸外で遊ぶ事を楽しむ。 ・幼小中のなめらかなつながりを深める。

